

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number : 01-237221

(43) Date of publication of application : 21.09.1989

(51) Int.CI.

B60J 3/02

(21) Application number : 63-062826 (71) Applicant : KASAI KOGYO CO LTD
STANLEY ELECTRIC CO LTD

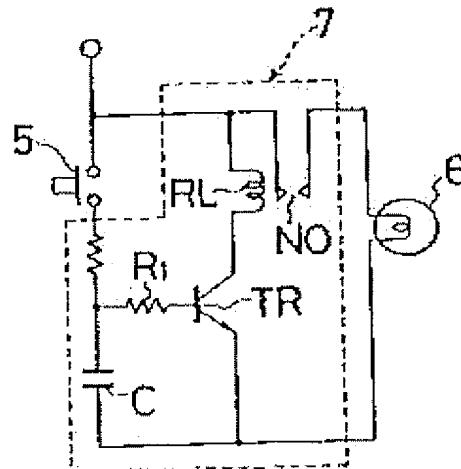
(22) Date of filing : 16.03.1988 (72) Inventor : KANEKO SEIJI
GYODA HIDEHIRO
FUJII TOSHIYUKI

(54) SUNVISOR PROVIDED WITH LIGHTING FIXTURE

(57) Abstract:

PURPOSE: To light for a predetermined time through instantaneous throw-in of a flasher switch and to subsequently go out automatically by providing a timer circuit startable through throw-in of the switch and conducting the power source for a lighting fixture only during a predetermined time interval.

CONSTITUTION: Instantaneous throw-in of a flasher switch 5 cases charging of a capacitor C in a timer circuit 7. When the charging voltage is applied through a resistor R1 onto the base of a transistor TR, the transistor TR is conducted to operate a relay RL connected to the collector thereof so as to light a lighting fixture 6 connected to the normal open contact NO of the relay RL. When the resistor R1 in the timer circuit is adjusted properly in relation to the capacity of the capacitor C, duration of discharge time of the capacitor C can be adjusted. The discharge time is the time limit to be set in the timer circuit 7 and duration of lighting time of the lighting fixture approximately matching to the time limit can be obtained. By such arrangement, the lighting fixture can be lighted for a predetermined time through instantaneous throw-in of the flasher switch and subsequently going out automatically.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

⑨ 日本国特許庁 (JP) ⑩ 特許出願公開
⑪ 公開特許公報 (A) 平1-237221

⑫ Int. Cl. A
B 60 J 3/02

識別記号 庁内整理番号
F-6759-3D

⑬ 公開 平成1年(1989)9月21日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 照明装置付サンバイザ

⑮ 特 願 昭63-62826
⑯ 出 願 昭63(1988)3月16日

⑰ 発明者 金子 政治 神奈川県高座郡寒川町宮山3316番地 河西工業株式会社寒川本社工場内
⑱ 発明者 行田 秀博 東京都大田区下丸子2-5-18
⑲ 発明者 藤井 敏幸 神奈川県秦野市堀西968-8
⑳ 出願人 河西工業株式会社 東京都中央区日本橋2丁目3番18号
㉑ 出願人 スタンレー電気株式会社 東京都目黒区中目黒2丁目9番13号
㉒ 代理人 弁理士 秋元 哲雄 外1名

明細書

【従来の技術】

従来のこの種の照明装置付サンバイザとしては、例えば米国特許4,491,899号公報に示されるものがあり、同公報明細書中および第7図、第8図に示されているようにミラーと、このミラーを閉閉自在に覆うカバーとに、前記カバーが閉位達となるときに接触する接点を設けておき、前記接点を介すると共に、更に点滅用スイッチを介して照明装置の点滅を行うもので、このようにすることで使用者が前記点滅用スイッチを切り忘れて前記カバーを閉止したとき(このときには、前記照明装置も同時に前記カバーで覆われるものとなり、使用者には点灯していることが確認不能となる。)に前記接点で前記照明装置を消灯させ、この照明装置の消し忘れにより生ずる過熱あるいは発火などの不都合を予めに防止するものである。

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、前記した従来のものの接点も点滅用スイッチも要は同じスイッチであり、安全性の向上のためとは云え、同じ機能のものを直列に

1. 発明の名称

照明装置付サンバイザ

2. 特許請求の範囲

自動車車室内に設置され照明装置と、この照明装置を点灯あるいは消灯させるための点灯装置とが設けられて成るサンバイザにおいて、前記点灯装置はモーメンタリスイッチによる点滅スイッチと、該点滅スイッチの投入により起動し所定時間の間のみ前記照明装置の電源を導通させるタイミング回路とから成ることを特徴とする照明装置付サンバイザ。

3. 発明の詳細な説明

【産業上の利用分野】

本発明は自動車の運転席あるいは助手席前方の天井部に設けられるサンバイザに関するものであり、詳細には前記サンバイザに例えばパニティミラーなどが併設され、そのための照明装置が設けられているサンバイザに係るものである。

二個接続することは、構成の複雑化を来しコストアップの要因となるばかりでなく、このように複数の接点を直列に介して給電することは毎回降下の原因となり照明が暗くなるなど性能低下の要因ともなり、解決すべき多くの課題を含むものであった。

【課題を解決するための手段】

本発明は前記した従来のものに生ずる課題を解決するための具体的手段として、自動車車室内に設置され照明装置と、この照明装置を点灯あるいは消灯させるための点滅装置とが設けられて成るサンバイザにおいて、前記点滅装置はモーメンタリスイッチによる点滅スイッチと、該点滅スイッチの投入により起動し所定時間の間のみ前記照明装置の電源を導通させるタイマ回路とから成ることを特徴とする照明装置付サンバイザを提供することで、従来のカバーに配された接点を不用とするなど機構を単純化して、前記従来の課題を解決するものである。

【実施例】

鍵が押されている間だけ電気接点が接続される形式のものが使用され、この点滅スイッチ5からの信号出力は前記サンバイザ本体2内に設けられたタイマー回路7に接続されている。

第2図に示すものは前記点滅スイッチ5と前記照明装置8とタイマー回路7との電気的な接続を最も基本的な例で示すもので、前記点滅スイッチ5の瞬時的な投入によりタイマー回路7中のコンデンサCが充電され、この充電電圧を抵抗器R₁を介してトランジスタTRのベースに印加することで、このトランジスタTRを導通させコレクタに接続された繼電器R₁を動作させ、該繼電器R₁のノーマルオープン接点NOに接続された照明天板8を点灯させるものである。

このとき、前記タイマー回路7中の抵抗器R₁を前記コンデンサCの容量値との関係において適度に調整することで、前記コンデンサCの放電時間の長短が調整可能であり、この放電時間が即ちタイマー回路7に設定される時間であり、この時間と略一一致する前記照明天板8の点灯継続時間が

つぎに、本発明を図に示す実施例に基づいて詳細に説明する。

第1図に符号1で示すものは本発明による照明天板付サンバイザであり、比較を容易とするために従来例と同様にサンバイザ本体2に開閉自在に取付られたカバー3と、該カバー3の閉位置のときにはこのカバー3に覆われるミラー4と点滅スイッチ5と、前記点滅スイッチ5により点灯させられる照明天板8とが設けられている照明天板付サンバイザ1の例で説明し、例えばミラー4など本発明の要旨に直接に関係しない部分については一部その説明を省略する。

本発明においても前記カバー3は従来例のものと同様に前記サンバイザ本体2に例えばヒンジ構造で開閉自在に取付られているが、このカバー3には電気的な接点などが組込まれることはなく、専らに機械的な開閉機構のみの単純なものとされている。

前記点滅スイッチ5はモーメンタリスイッチと称されている押釦状で、且つ操作者によりこの押

押されるものとなる。尚、前記した点灯継続時間、即ち時限が経過した後には前記照明天板8は自動的に消灯し、再度点滅スイッチ5が投入される以外には再点灯を行うことはないものとなる。

このように構成したことで、本発明の照明天板付サンバイザ1は前記点滅スイッチ5を瞬時投入することで所定時間点灯し、その後に自動的に消灯するものとなる。

尚、前記の説明は理解を容易とするために最も基本的であり、単純な構成のもので行ったが、実施に当たり、例えば前記タイマー回路7として、この目的のために専用として販売されているICを使用し、例えばより長時間の点灯時間の設定を可能とする、あるいは設定時間可変とするなどの変更は自由であり、この変更が本発明の要旨を損なうものでないことは云うまでもない。

【発明の効果】

以上に説明したように本発明により、モーメンタリの点滅スイッチによりタイマー回路を起動させ、このタイマー回路に設定された時間だけ照明天板

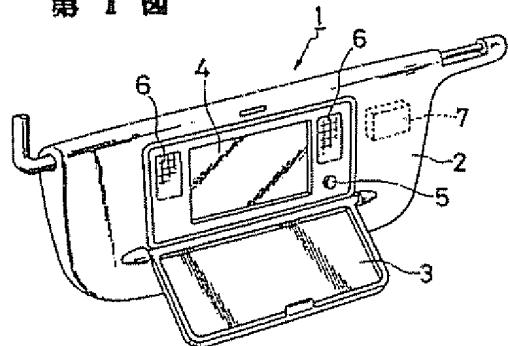
面鏡を点灯させる照明装置付サンバイザとしたことで、照明装置は自動的に消灯するものとなり、前記タイマー回路に適正な时限を設定しておくことで使用上に何等の不都合を生ずることなく使用後に自動的に消灯するものとなり、カバーなどに消し忘れのためのみの実用性に全く関与しない直列接点を設けることを無くし、構造の単純化と性能の向上に優れた効果を奏するものであり、更に云えば、例えばカバー自体を防止する可能性も生じさせるものとなり、コストダウンにも相当の効果が期待できるものとなる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明に係る照明装置付サンバイザの一実施例を示す斜視図、第2図は同じ実施例の電気的接続を示す回路図である。

- 1 …… 照明装置付サンバイザ
- 2 …… サンバイザ本体
- 3 …… 点滅スイッチ
- 4 …… 照明装置
- 5 …… タイマー回路

第1図



第2図

